

地域コミュニティフォーラム(中国ブロック)

実施要項

1 主催 公益財団法人 明るい選挙推進協会

共催 総務省

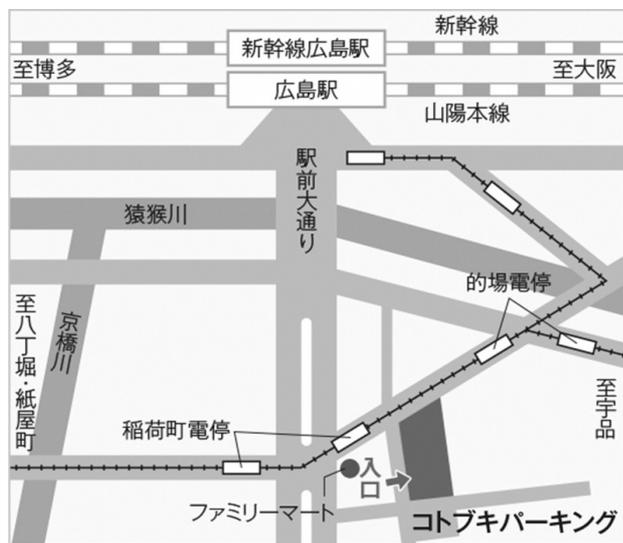
2 期日 令和元年10月1日(火)-2日(水)

3 会場 ワークピア広島(広島労働会館) 2階桜ABC

住所 広島市南区金屋町1-17

電話 082-261-8131(代) HP <https://www.workpier.jp/>

最寄駅 JR広島駅より徒歩7分、広島電鉄「稲荷町」より徒歩1分



4 目的

- ・参加者の政治的リテラシーの向上
- ・明るい選挙推進運動の活性化策を探ること

5 参加対象

中国地方在住、在勤、在学で下記に該当する方

- ・明推協会員、選管啓発担当者
- ・公民館などの社会教育関係者、自治会、老人会、婦人会など地域活動に参加されている方
- ・明るい選挙推進運動に関心を持っている方

6 日程(プログラムは変更する可能性があります)

10月1日(火)

12時	開場・受付
13時～13時10分	開会挨拶 広島県明るい選挙推進協議会
13時10分～40分	オリエンテーション
13時45分～14時55分	講義「地域活動・家庭教育と主権者教育(仮)」 清國祐二 香川大学地域連携・生涯学習センター長(教授)
15時05分～16時15分	講義「公共性主義とは何か(仮)」 小川仁志 山口大学国際総合科学部教授
16時25分～17時15分	意見交換

10月2日(水)

8時30分	開場
8時50分～9時20分	啓発に関する情報提供
9時25分～11時40分	話し合い「啓発事業の活性化を考える」
11時40分～50分	アンケート
11時50分	閉会

7 参加申し込み

・参加を希望される方は、下記連絡先へ電話又は電子メールによりご連絡ください。

(申込期限9月11日)

提出先：鳥取県選挙管理委員会事務局

電話：0857-26-7061

電子メール：senkan@pref.tottori.lg.jp

- ・参加費は無料です。
- ・参加者の旅費、宿泊費等につきましては、規定の範囲内で鳥取県選挙管理委員会において負担することとしております。(ただし、予算に限りがあるため、希望者多数の場合は、参加者を調整させていただくことがありますのでご了承ください。)
- ・参加者の宿泊先につきましては、各自で手配いただきますようお願いいたします。

8 プログラムの概要

(1) 講義「地域活動・家庭教育と主権者教育(仮)」 清國祐二・香川大学教授

小中高での主権者教育が広く進められていますが、家庭教育や地域における主権者教育の重要性も指摘されています。自治会、老人会、女性会などからの参加者の多い、地域に根差した明るい選挙推進協議会にとって格好の活動の場になると考えられますが、どのように取り組めばいいのでしょうか。その糸口をお話いただければと考えております。

先生は香川大学の地域連携・生涯学習センター長で、全国市町村国際文化研修所や各地の生涯学習に関する研修会で講師をお務めになつております。中央教育審議会の生涯学習分科会の臨時委員、日

本生涯教育学会副会長なども歴任されました。協会でも、若者対象の研修会において、「ファシリテーション」について講師をお願いしたことがあります。

(2) 講義「公共性主義とは何か(仮)」 小川仁志・山口大学教授

明るい選挙推進運動はボランティアによる活動です。明推協の参加者は、地域のためにさまざまな役職を兼任で担っている方も多いかと存じますが、その根底には公共に貢献するお気持ちを強くお持ちなのかなと想像いたします。小川先生は、本年6月に著書「公共性主義とは何か」を出版されました。皆様の活動に参加する意欲を後押しして下さるお話をお聞きすることができるのではないかと、講義をお願いいたしました。

小川先生の専門は公共哲学・政治哲学で、大学で教えるほか、「哲学カフェ」を主宰するなど市民のための哲学を実践されています。著書は多数、テレビ出演も多く、最近ではNHK・Eテレの「世界の哲学者に人生相談」などにも。大手企業、市役所勤務の後、徳山工業高等専門学校准教授を経て現職に就かれています。協会のブロック研修会においても、哲学カフェ形式で講義をお願いしたことがあります。

(3) 意見交換と話し合い

1日目の講義2本のあとの意見交換は、参加者各位がいままでどういう常時啓発活動に参加してきたか、講義を聞いて思ったことなどを出し合ってください。

2日目の話し合い「啓発事業の活性化を考える」は、下記から1つ選んでいただいたテーマにそってグループ分けを行いますので、参加申込書に希望する記号を明記してください。今回参院選で示された投票率のさらなる低下傾向を踏まえ、啓発事業の見直し案を考えていただきます。明推協の啓発活動と、明推協以外の様々な団体の活動には、人に働きかけるという点では通底するものがあると考えますので、明推協活動に限らず、様々な団体での経験を持ち寄っていただければと考えます。役場職員として複数の部署での勤務経験のある選管職員の方々にも、ボランティアとどう協働するかという視点に立って、ご意見をいただきたく存じます。

- A 選挙出前授業に明推協委員がどう参画するか
- B 家庭教育・地域教育での啓発事業を考える
- C 明推協委員に対する研修会・年間研修計画を考える
- D 明推協の組織の活性化を考える